１０月　結婚記念日　おめでとうございます

10月　1日　菊川直紀会員ご夫妻　　10月 9日　延生隆廣会員ご夫妻
10月10日　川口栄計会員ご夫妻　　10月10日　網干康史会員ご夫妻
10月14日　中井政嗣会員ご夫妻　　10月17日　中川静夫会員ご夫妻
10月19日　神田眞晃会員ご夫妻　　10月20日　岡西豊博会員ご夫妻
10月28日　白野陽一会員ご夫妻



ガバナーとの記念撮影


11:15～ガバナーと入会3年未満の
ロータリアンの懇談会


11:45～ガバナーと
理事役員の懇談会

IM第4組会長幹事会（金輪会）

10月9日(金)、シェラトン都ホテル大阪にて「第2回 IM第4組 金輪会（旧会長幹事会)」が開催されました。
1. 開会とテーブルディスカッション。松尾治ガバナー補佐による力強いご挨拶で幕を開け、今回は「なぜロータリーは青少年プログラムに取り組むのか」をテーマにテーブルディスカッションが行われました。各クラブから過去の交換プログラムについて発表があり、当クラブからは清水会員による、心温まる交換プログラムの取り組みを発表いたしました。また、米山奨学生やローターアクト（RAC）にまで話題が広がり、各テーブルとも大いに盛り上がりました。
2. 青少年プログラムに関する重要事項。議論の中で、「みなし青少年プログラム」（地区青少年交換委員会を介さない会員独自の交換プログラム）について言及がありました。青少年保護の観点より、実施にあたっては必ず地区からの認定を受ける必要がある旨のお願いと周知がなされました。
3. 脇ガバナー補佐エレクトからのご案内。最後に、脇ガバナー補佐エレクトより次のお願いがございました。
地区大会において各クラブ会長がご登壇される際には、IM第4組の全ての会長に対し、組のメンバー全員であたたかい拍手を送りましょうと呼びかけられました。
今回も充実した情報交換の場となりました。次回以降の開催についても、随時ご報告させていただきます。
よろしくお願いいたします。　　文責：三島敏宏



これからの予定
10月18日（日）「END POLIO NOW×スポGOMI」　　10月22日（木）例会
10月23日（金）～25日（日）三姉妹合同例会（釜山西北RC）　10月29日（木）休会
10月31日（土）11月1日（日）社会奉仕・青少年奉仕活動「みなみフェス」
11月　5日（木）例会・定例理事会　　11月12日（木）例会　　11月19日（木）例会

２０２６．１０．１５　№２３３２

WEEKLY BULLETIN OSAKA NAMBA
大阪難波ロータリークラブ週報



２０２６-２０２７年度 国際ロータリー会長
オラインカ・ハキーム・ババロラ
会長メッセージ「持続可能なインパクトを生み出そう」
（第2660地区ガバナー 横田孝久）

今日の卓話	次回の卓話	ロータリー４つのテスト
１０月１５日（木） テーマ　米山月間卓話 「モンゴルと日本の関係について」 卓話者　ガワドルジニャムドルジさん 卓話担当者　久保幸一カウンセラー	１０月２２日（木） テーマ 「自己紹介 - 私の仕事」 卓話者 吉光　淳 会員	言行はこれに照らしてから １．真実かどうか ２．みんなに公平か ３．好意と友情を深めるか ４．みんなのためになるかどうか

第１３回例会　本日のプログラム

開 会 （点鐘） 通算第２３３２回例会
・ロータリーソング「ROTARY」
・歌　　岡本優香さん
・ピアノ　　倉田栞名さん
　　髙山理帆さん（交替制）
・来客紹介　　友好委員
・ストレッチ
会 食
・会長報告　　森田 納会長
・幹事報告　　三島敏宏幹事
・委員会報告　各委員長
・出席報告　　出席委員
・ニコニコ箱報告　ＳＡＡ
・卓話
閉 会 （点鐘）

R-O-T-A-R-Y
R-O-T-A-R-YThat spells Rotary;
R-O-T-A-R-Y
Is known on land and sea;
From North to South,from East to West;
He profits most who serves the best;
R-O-T-A-R-Y
That spells Rotary.

ニコニコ箱報告	
前回の合計	￥１００，０００
本日までの累計	￥１，５７１，１６０（82%達成）
10月末の予算額	￥１，９００，０００

出席報告		
前回 １０月８日		３週前９月１０日
会員総数	７８名	出席免除を除く MUを含む 修正出席率 79.45 %
出席会員数	５６名	
出席率	７５％	

大阪難波ロータリークラブ　　例会日時 毎週木曜日 １２：３０
創立 １９７６年８月５日　　例会場 スイスホテル南海大阪7階 芙蓉の間
会長：森田 納 幹事：三島敏宏 会報・雑誌委員長：内園彰人 事務局：安部亜希子
事務局 〒542-0076 大阪市中央区難波5-1-60 スイスホテル南海大阪５階
TEL 06-6632-3956　FAX 06-6632-3957　e-mail osaka-namba@poem.ocn.ne.jp

10月は「地域社会の経済発展月間/米山月間」です

前回の記録　第１２回　１０月８日（木）

★来客紹介：百田友好委員

第2660地区　ガバナー　横田孝久様
第2660地区　地区幹事　市村優次様
第2660地区　地区幹事　美濃弘和様
川浦会員ゲスト　根垣貴行様


横田孝久様


市村優次様


美濃弘和様


根垣貴行様

★会長報告：森田会長

1.本日はガバナー公式訪問で横田ガバナー、市村地区幹事、美濃地区幹事、川浦会員ゲストの根垣貴行様お忙しい中お越しいただき本当にありがとうございます。横田ガバナーのお話を聞かせていただく機会が一年くらい前から4回ほどありましたが、横田ガバナーが今年度は青少年奉仕に大変力を注いでおられる事を強く感じる内容でした。大阪難波も横田年度の2つの柱を追随していきたいと思っております。今日の3年未満のフレッシュロータリアンとの懇談会も3年未満の新しい会員の退会率が高いということで、横田ガバナーの発案で行われました。横田ガバナー本日の卓話よろしくお願いいたします。

★幹事報告：三島幹事

1.本日の週報に定例理事会の議事録を掲載させていただいておりますのでご確認ください。
2.地区大会の出欠をまだ提出されておられない方は、10月15日までにお願いします。
3.秋田会員、森田会員ご推薦の大鶴次郎氏が会員候補者として承認されました。本日書面でご通知しておりますので、ご検討ください。
4.ロータリーレート変更のお知らせです。10月のロータリーレートは1ドル＝157円となっております。

★委員会報告

◇クラブ会報・雑誌委員会：内園委員長
横P2-3　RI会長メッセージ
横P4.　ロータリー財団管理委員会からのメッセージ
縦P19.　ロータリーあるある相談室

◇国際交流三姉妹委員会：河内委員長

釜山西北RC訪問についての注意事項連絡

◇社会奉仕委員会：大塚委員長

1.みなみフェス2026について
2.令和８年熊本地震支援ボランティア活動について

◇青少年奉仕/大阪難波RAC委員長：段委員長

国際ロータリー第2640.2650.2660.2680地区
ローターアクト2026-27年度関西四地区情報交換会・交流会のご案内
2026年11月22日(日)ホテル日航大阪にて開催されます。交流会よりロータリアン有志の方は参加可能です。参加費2万円となります。ご希望の方は事務局までお伝えください。

◇友好委員会：川浦委員長

11月4日開催させていただきます友好ゴルフコンペ、まだ参加申し込み可能ですのでよろしくお願いいたします。

★ニコニコ箱報告：赤坂副SAA

森田　納：横田孝久ガバナー、市村優次地区幹事、美濃弘和地区幹事、ガバナー公式訪問、本日はよろしくお願いします。
三島敏宏：横田ガバナー、地区役員の方、ガバナー公式訪問いただき有難うございます。何卒宜しくお願いします。
夏　明義：横田ガバナーをお迎えして。例会欠席お詫び。
荻原　奨：家内誕生日を祝って！
伴井敬司：横田ガバナーをお迎えして。
福田　忠：横田ガバナー、市村・美濃両幹事、本日はようこそお越し下さいました。公式訪問例会よろしくお願いいたします。
松浦孝尚：横田ガバナー公式訪問、本日よろしくお願いいたします。
立花英司：横田ガバナー、地区役員の皆様、ガバナー公式訪問ありがとうございます。
中川静夫：横田ガバナー、訪問くださりありがとうございます。妻の誕生日祝い、ありがとうございます。
山川正時：横田ガバナー、幹事の皆様お越しいただきありがとうございます。林50周年実行委員長、なんば広場時計寄贈プロジェクトお疲れ様でした。
河内　理：祝創立50周年記念時計寄贈。林50周年実行委員長はじめ、ご尽力いただきました皆様ありがとうございました。
田中浩弥：創立50周年記念事業時計台寄贈、林委員長様おめでとうございます。
井原純平：例会欠席お詫び。
花城康輔：横田ガバナー、公式訪問貴重なお話ありがとうございました。
田邉雄一：前回、前々回休みましてすみません。
人見和浩：奥様誕生日、自祝。
石井かおる：時計台お疲れ様でした。とても素敵でした。
上拾石勲：例会欠席お詫び。

★大阪難波ＲＡＣへのニコニコ箱報告

森田 納：林会長、本日のみなみフェス打ち合わせよろしくお願いします。
三島敏宏：本日例会頑張ってください。

累計￥１７７，０００

★卓話　テーマ　「ガバナー公式訪問」
卓話者　第2660地区ガバナー　横田孝久様

皆様、本日は卓話の機会をいただき、誠にありがとうございます。
2026-27年度のRIババロラ会長は、「持続可能なインパクトを生み出そうーCREATE　LASTING IMPACT」をメッセージとして掲げられました。私たちロータリアンは、これまでも地域社会や世界のために数多くの奉仕活動を行ってきました。しかし、単に活動を実施するだけではなく、その成果が将来にわたって継続し、次の世代にも良い影響を与え続けることが求められています。一方で、ババロラ会長はもう一つ大切なことを私たちに問いかけています。それは、「ロータリーが引き起こす自分自身の内面の変化に着目しよう」ということです。
私たちはロータリーで何をしたかについて語ることはあっても、ロータリーによって自分がどう変わったかを語る機会は決して多くありません。　しかし、ロータリーの本当の価値は、奉仕の受益者だけではなく、活動に参加した私たち自身の心にも変化をもたらすことにあるのではないでしょうか。
私は今年度の地区運営において、「ロータリーモーメント」を大切にしていきたいと考えています。ロータリーモーメントとは、ロータリー活動を通じて心が揺さぶられる体験のことです。例えば、奉仕活動の現場で子どもたちの笑顔に触れた瞬間。支援を受けた方から感謝の言葉をいただいた瞬間。長年の活動が実を結び、地域社会の変化を実感した瞬間。あるいは、クラブの仲間との友情や信頼の深さに気付いた瞬間。そうした出来事は、一見すると小さな出来事かもしれません。しかし、その体験が私たちの価値観を変え、人生観を変え、行動を変えていきます。　そして、一人のロータリアンの変化は、やがてクラブを変え、地域社会を変え、世界を変える力となります。　私は、「持続可能なインパクト」とは、プロジェクトの成果だけを意味するものではないと考えています。　もちろん、奉仕活動による社会的な成果は重要ですが、それ以上に大切なことは、その活動に参加した人々の心に残るインパクトです。　人の心に生まれた感動や気付きは、その後の行動につながります。　行動は習慣となり、習慣は文化となります。　そして文化は、長期的で持続可能な変化を生み出します。
だからこそ私は、皆様にお願いしたいのです。ぜひクラブの中で、会員の皆様が経験したそれぞれのロータリーモーメントを語り合ってください。入会して最も感動した出来事は何だったのか。人生の転機となった奉仕活動は何だったのか。なぜ今もロータリーを続けているのか。なぜ財団や米山に要請以上の寄付をしようと思ったのか。
そうした体験の共有は、クラブの結束を強め、新しい会員の成長を促し、ロータリーの魅力を次世代へ伝える大きな力になります。ロータリーは単なる奉仕団体ではありません。ロータリーは、人を育て、人を変え、人と人をつなぐ組織です。そして、その変化が積み重なることで、社会に持続可能なインパクトをもたらします。
2026-27年度、私たちはRI会長のメッセージのもと、それぞれのクラブで、それぞれの地域で、持続可能なインパクトの創出に取り組んでまいります。　その第一歩として、一人ひとりが自らのロータリーモーメントを大切にし、その感動を仲間と分かち合っていただきたいと思います。
皆様とともに、ロータリーの力をさらに高め、地域社会と未来のために新たな一歩を踏み出していきたいと思います。　結びに皆様のクラブが今年度、より元気ある、魅力ある、個性あるクラブとなりますよう祈念して卓話を終わります。

